



◆くろずみ・ひろあき 1981年神戸大医学部卒。三木市民病院(兵庫県)、加西市立病院(同)、昭生病院(神戸市)などを経て2007年から現職。循環器専門医。大阪市出身。59歳。

性があるので、心臓外科のある施設で行うことが条件だ。

治療の課題や対策について。

■ キナシ大林病院・内科循環器科

循環器専門医3人のほか糖尿病専門医2人、透析専門医が4人。心臓CT・エコー、冠動脈造影検査などが可能。

所在地：高松市鬼無町藤井435-1

電話：087(881)3631

http://www.obayashihp.or.jp/

血液中の老廃物の排出が困難になる腎不全を患い、透析治療を受けている患者の死因で最も多いのが、心不全や心筋梗塞などの心臓病だ。尿を出せないため体内に水分がたまり、透析の際に水分が急激に減少することで、血圧に変化が起こり、心臓に負担がかかりやすい。透析治療に力を入れるキナシ大林病院副院長で内科循環器科担当の黒住泰明氏に、透析患者の心臓病の特徴や治療法について聞いた。

め、慢性的に心臓に負担がかかってしまうことが要因だ。

―症状で多いのは、心不全が死因で最も多く、3割超を占める。腎不全患者は、尿が出せないの

―テル治療が難しいので、ドリルで狭くなった部分を削り取る。その後は、通常の心臓病治療同様にステント(網状の筒)を留置し、血流を確保する。

―ほかの治療法は、

透析患者の心臓病治療

血管の沈着物を除去

レーザーなどで血流確保

―心臓病が多い理由は、透析患者は、2〜3日に1回、1日4時間以上かけて行う透析治療でしか尿を体外に排出できないので、体内に水分がたまりやすい。人間の血液量は体重の約13分の1とされるが、定量を上回る水分が体内に流れると、血管に対する圧力が高まってしまつ。このた

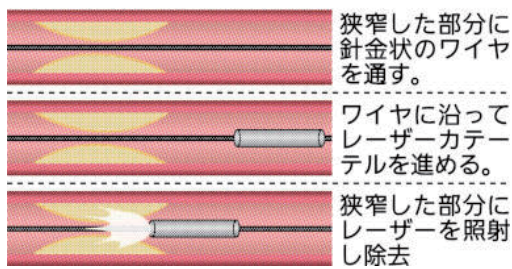
で体内の電解質の構成バランスをコントロールできず、不整脈が出やすくなることも原因だ。

―具体的にどう治療するのか。

透析治療がおよそ20年を超えると、心臓の冠動脈にカルシウムの沈着が進み、血管が硬化する場合があります。そのため、血管を風船で広げ血流を確保するカテ

レーザーを使った治療がある。心臓を動かす筋肉に酸素や養分を送る冠動脈の内部の狭窄した箇所を、細い針金状のワイヤを通して、レーザーカテーテルを進め、レーザーを照射し、カルシウムやコレステロールなどを除去する。2012年4月から保険適用になった。ただ、血管内に穴が開いてしまう「穿孔」の危険

■レーザーを使った冠動脈治療



―日常生活で気を付けることは、塩分を取りすぎると体が水分を取り込み、血管に負担をかけるので、1日7g程度に控える。次回の透析までに体重が3kg以上増えないように1日1リットル以下の水分摂取を守ることが重要。また、芋類や豆類、果物に多いカリウムは不整脈を起こしやすい、魚介、乳製品などに多いリンはカルシウム沈着を起こしやすいので注意が必要だ。